

## 浅野中学校

### 算数

2022年度は、各大問とも①・②・③と順に難しくなっていたので、①を確実に正解するとともに、②や③のなかで自力で解けるものを見つけ、どれだけ正解できたかが差となっていたように感じられました。また、大問①の小問や、大問②～大問③前半のていねいな誘導をつけてある部分の小問は、正答率も高く、ミスなく得点してほしかったところです。大問②の16個のマスを埋めていく問題の後半では、場合の数の広がり方が想像できずに、苦戦している様子が見られました。大問①の(5)の説明の問題は、一見面倒に感じたかもしれませんが、問題文中で説明に必要なキーワードの多くは述べていたので、それを用いて説明すれば、すっきりとした文章を書くことができたでしょう。白紙の状態だった人もいましたが、ぜひ練習しておいてください。

### 国語

2022年度の①の漢字問題では、一画ずつていねいに書けなかったせいで、誤った字形になっている解答も散見されました。ふだんの漢字学習のときから、一画ずつていねいに書くことを徹底してください。読解問題では、「答えが何か」ということばかりに関心を向けるのではなく、文章中のどの部分をもとに考えればいいのか、その部分をどうやって見つければいいのか、その部分をもとにどう考えれば答えにたどり着けるのかなど、考え方や根拠を大切に勉強してください。問題集や過去問題を解くだけでなく、ふだんからさまざまな文章を読んだり、語彙を増やしたり、読んだ文章やことばについて考えたりすることが、入試問題での得点につながります。

### 理科

2022年度に限らず、用語は漢字で正確に覚えてください。教科書にない語句が参考書などに出ていたら、覚えるようにしましょう。計算問題が毎年出題されるので、計算力はしっかりとつけてください。表や図を読み取る問題が出題されるので、問題文をよく読んで、きちんと理解し、正確に表や図を読み取る練習をしておきましょう。

### 社会

教科書の基本事項や最新の時事問題など、社会を学ぶうえで基本的な内容はしっかりと身につけてほしいと思います。現代社会で問題となっていることや、現代社会を生きるわたしたちの課題について、なぜそれが問題となっているのか、その問題に対してどのような対処をすべきなのかを考える習慣をつけましょう。基本事項の暗記はもちろん必要ですが、それだけではなく「なぜそうなったのか」を常に意識して学ぶようにしてください。日常生活のさまざまな場面は、すべて社会の勉強をすることにつながっています。「なぜだろう」と疑問を感じたら、すぐに調べてみることをお勧めします。机に向かうだけが社会科の勉強ではないことを理解してください。

## 鎌倉学園中学校

### 算数

大問は8題で、標準的な問題が中心です。簡単な問題も難しい問題も、配点は同じ4点なので、簡単なものを正確に解くことが大切です。総合問題（大問4～8）は、(1)が基本問題で、(2)は(3)を解くためのヒントや注意になっている場合があります。出題傾向は大きくは変わらず、難度も2022年度とほぼ同様の予定なので、過去の問題をよく演習してください。ただし、「算数選抜」については、すべてが記述式の問題です。考え方を図や途中式で記述してください。

### 国語

大問は6題で、1では教育漢字範囲内の漢字を、書きのみ5問出題します。2・3ではことわざや慣用表現、文法などの知識や運用について幅広く問います。ただし、基本的なレベルの問題が中心になります。4・5は長文読解で、4は小説・随筆または詩と、その鑑賞のような内容の文芸的文章です。5は物事を論ずる内容の論理的文章です。4・5とも3500～4000字程度です。形式は、記号選択式・抜き出し式・空欄補充式が中心です。指示語・接続語、ことばの意味、心情や情景の読解、趣旨の読み取りなどを幅広く問います。また、30～60字程度の記述問題があります。傍線部の内容について説明したり、理由を述べてもらったりする問題が多いです。6は図表や対話形式の文章、新聞記事などを素材とした問題を出します。資料をていねいに読むことで、正解のヒントをつかめます。

### 理科

物理・化学・生物・地学の4分野から出題し、原則として1問2点（完答、1点あるいは4点配点もあり）です。選択問題と計算問題が中心で、用語記入もあります。実験や資料からの考察問題は時間配分に注意してください。問題数が多めなので、すぐにできる問題から解くようにしてください。物理はものの動き、速さなどについて出題します。化学は水溶液の性質、気体の性質などを勉強しておいてください。生物は身近な動物や植物について出題しています。地学では岩石、地震、天体などから出題しています。

### 社会

大問2題構成で、大問ごとに一つのテーマに沿って出題され、地理・歴史・公民の各分野の小問が含まれています。簡単な論述問題もあります。資料のなかに根拠を見つけ、説明できるようにしておくといいです。地理は、日本の自然・産業、各地方の特徴が中心です。歴史は、古代から近現代まで、まんべんなく整理しておくといいでしょう。年表を自分で作成してみるなどして、各時代の特徴をつかむことが大切です。人名・歴史的事件は漢字指定となっています。公民では、近年起こった政治・社会問題も出題することがあります。日ごろから「現在、日本の政治や社会で何が問題になっているのか」と考えながら、新聞やニュースに接するといいでしょう。地理・歴史・公民ともに、時事問題に関心を持ちながら、基本事項を学習しておけば得点源になります。

## サレジオ学院中学校

### 算数

基礎的な知識、計算力、思考力を総合的に見ます。分野の偏りがないように、各分野からまんべんなく出題するように心がけています。大問は5題で、計算問題、図形、特殊算などを含みます。途中の過程や理由を書く問題もあるので、図や式やことばを用いて、考え方がわかるように解答してください。

### 国語

出題は、漢字の読み(3問)書き(7問)、説明文と物語文の読解(それぞれ8問程度)です。日ごろからことばに関心を持って勉強することが大切です。説明文では、話の展開やキーワード、筆者の意見を押さえながら読んでいるか、物語文では、登場人物の行動や気持ち、場面の展開などを押さえながら読んでいるか、読解の基本となる事柄を中心に出題します。それぞれに記述問題がありますが、ただらと文中のことばをつなげるのではなく、解答の根拠となることばを加えて的確に説明することが求められます。誤字脱字は減点の対象です。

### 理科

知識の定着度、計算力、図表の分析力などを幅広く問います。時間内に標準的な問題をきちんと解く力を求めています。大問は4題で、物理・化学・生物・地学の4分野から、ほぼ均等に出題します。身の回りの自然現象についての説明を読んで考える問題や、実験のグラフや表を読み取って規則性を見つけ、計算する問題などもあります。記号・語句・数値・記述などは指示された形式で答えてください。計算結果については、単位も含めて解答させる場合があります。

### 社会

基本的な問題を中心に、基礎力と組み合わせた発展問題、興味・関心を問う実力問題を出題します。時事的な話題を含み、統計・資料や選択肢の文を読み取って考える問題もあります。2019年度からは、地理・歴史・公民の3分野を大問1題に統合しました。配点は各分野ともほぼ均等で、75点満点であることに変更はありません。学校で学習することだけでなく、生活の場で得られる知識に関して出題することもあります。地名・人名・用語など漢字指定の問題が多くあります。その場合は、漢字の間違いや、かな文字での解答は減点の対象となります。

## 逗子開成中学校

### 算数

四則演算の正確さ、計算法則を用いて工夫して計算できるか、各分野の基本的事項が身についているか、その基本的事項を組み合わせた少し複雑な問題に対応できるような思考力・読解力を習得しているか、などを問います。なお、ことばや数式を用いて、論理的に自分の考えを表現する問題も必ず出題しています。そのような記述問題には慣れておいてください。

### 国語

漢字の読み書きや語句の意味などの語彙力、文章を論理的に把握する読解力、読み取った内容についてさまざまな観点から考える思考力、的確に説明する表現力などを問います。記述問題では、いかに部分点を取るかが重要です。文章から解答すべき要素を見つけて、記述するようにしましょう。

### 理科

物理・化学・生物・地学の各分野から偏りがないように出題しています。各分野の基礎力を十分に養ってください。また、環境問題や理科に関する時事問題を出す場合もあります。日ごろから科学に関心を持ち、ニュースや新聞などを通じて、現代社会で起きている科学的事項に触れ、基本的内容に関心を持っていてもらいたいと思います。大問の前半部分の問いは、ほとんど基礎事項を問う内容です。ここでしっかり得点を取り、発展的内容の問いをできるだけ多く解くことが大切です。文章で答える記述問題では、キーワードを落とさぬよう注意してください。

### 社会

地理・歴史・公民の各分野から偏りなく、基本問題を中心に出题します。文章や統計データ（グラフ・表）を読み取る力、ある事象について知識を複合的に用いて考える力、重要語句を正確に書く力、筋道を立てて説明する力がどれくらいあるかを測れるよう作問しています。着実に各分野の基礎・基本を学習していくことが大切です。また、丸暗記ではなく、覚える語句にどのような意味があるのか、どのような事柄と関連しているのかを、日ごろから意識して学習しておいてください。

## 横浜中学校

### 算数

①は基本的な計算が10問で、②はさまざまな分野から小問9問を出題します。③は文章題です。途中式や考え方を書く設問では、たとえ答えに至らなくても部分点を与えることがあるので、必ず記入しておいてください。

### 国語

大問は4題が基本です。読解問題（文学的文章と説明的文章）が2題、漢字と語句（漢字検定5級程度）に関する問題が1題、100字の作文問題が1題です。作文問題では部分点があるので、完全でなくても必ず答えを書くようにしてください。

### 理科

大問は4題です。物理・化学・生物・地学の4分野からほぼ均等に出題します。複数の分野にまたがる問題（複合問題）を出題することもあります。基礎的知識の確認問題、図や表から答えを導き出す問題、実験・観察結果から考察させる問題、時事問題などです。すべての試験で出題範囲に偏りのないよう配慮しています。

### 社会

大問数は試験回により異なります。小学校で学習した、地理・歴史・公民の基礎的な事項がしっかりと理解できているかを問います。統計資料や地図、都道府県に関する問題、最近起こった大きな出来事（時事問題）はしっかり確認しておいてください。記号選択問題がありますが、記述問題も必ず出題します。特に、漢字で習った人名などは、漢字で書けるようにしておいてください。